

# 平成 30 年度当初予算について

大野城市長 井本宗司



平成 30 年度の一般会計及び 5 つの特別会計、2 つの企業会計を合計した当初予算総額は、578 億 4 千 930 万円で、前年度に比べて 3.9%、23 億 5 千 333 万 2 千円の減となっております。このうち一般会計は、350 億 7 千 500 万円で、前年度に比べて 500 万円の増となり、平成 29 年度の 350 億 7 千万円を超える過去最大の予算規模となりました。

平成 30 年度におきましては、シティブランド力を強化し“「選ばれる」自治体を目指す”取り組みと、「まちのやすらぎ」の深化を図り“暮らしを守る”取り組みの 2 つの視点から、市職員一丸となって市政運営に取り組んでまいります。

具体的には、子どもたちの教育環境の改善のための「校舎等大規模改修」や、災害時における警戒区域の崩落などを未然に防ぐ「急傾斜地崩落対策工事」をはじめ、市民の皆様の暮らしと安全に密接に関係する事業を盛り込んでおります。

市民の皆様からお預かりした貴重な税金を無駄にすることなく、次世代に負担や責任を先送りにしない「選択と集中」、「先手・先取の対応」を基本とした戦略的な財政運営に、平成 30 年度も引き続き努めてまいります。

このパンフレットは、大野城市の平成 30 年度当初予算を市民の皆様に分かりやすく紹介するために作成したものです。明日の大野城市を一緒に考えていくために、市政に対する理解を深める一助として活用していただければ幸いです。

## 各会計の予算総括

(単位：千円、%)

会 計 区 分	平成30年度 予 算 額	平成29年度 予 算 額	増減額	増減率	
① 一般会計	35,075,000	35,070,000	5,000	0.0	
② 国民健康保険特別会計	8,634,177	11,128,852	△ 2,494,675	△ 22.4	
③ 介護保険特別会計（保険事業勘定）	5,850,187	5,626,192	223,995	4.0	
④ 介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）	21,309	54,359	△ 33,050	△ 60.8	
⑤ 後期高齢者医療特別会計	1,276,525	1,256,486	20,039	1.6	
⑥ 公共用地先行取得事業特別会計	1	1	0	0.0	
⑦ 土地区画整理清算金特別会計	218	218	0	0.0	
小 計（A）	50,857,417	53,136,108	△ 2,278,691	△ 4.3	
⑧ 水道事業会計	収入	2,439,825	2,474,268	△ 34,443	△ 1.4
	支出（B）	3,137,571	3,082,394	55,177	1.8
⑨ 下水道事業会計	収入	3,272,323	3,407,369	△ 135,046	△ 4.0
	支出（C）	3,854,312	3,984,130	△ 129,818	△ 3.3
全会計合計（A）+（B）+（C）	57,849,300	60,202,632	△ 2,353,332	△ 3.9	

用語解説	<b>予算</b> 1年間の収入(歳入)と支出(歳出)の計画です。予算を見れば、市民の皆さんが納める税金などが、どのような事業にいくら使われるのかが分かります。	<b>特別会計</b> 国民健康保険や介護保険のように特定の収入で、特定の事業を行う場合などに設ける会計です。大野城市には現在5会計(国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療、公共用地先行取得事業、土地区画整理清算金)があります。
	<b>歳入・歳出</b> 会計年度(4月から翌年3月までの期間)内の収入・支出のことです。	<b>企業会計</b> 民間企業のように、利用料金などの収益で運営している会計です。大野城市は現在2会計(水道事業、下水道事業)があります。
	<b>一般会計</b> 福祉や教育、道路整備など、行政の基本的な事業の会計(予算の中心)です。	